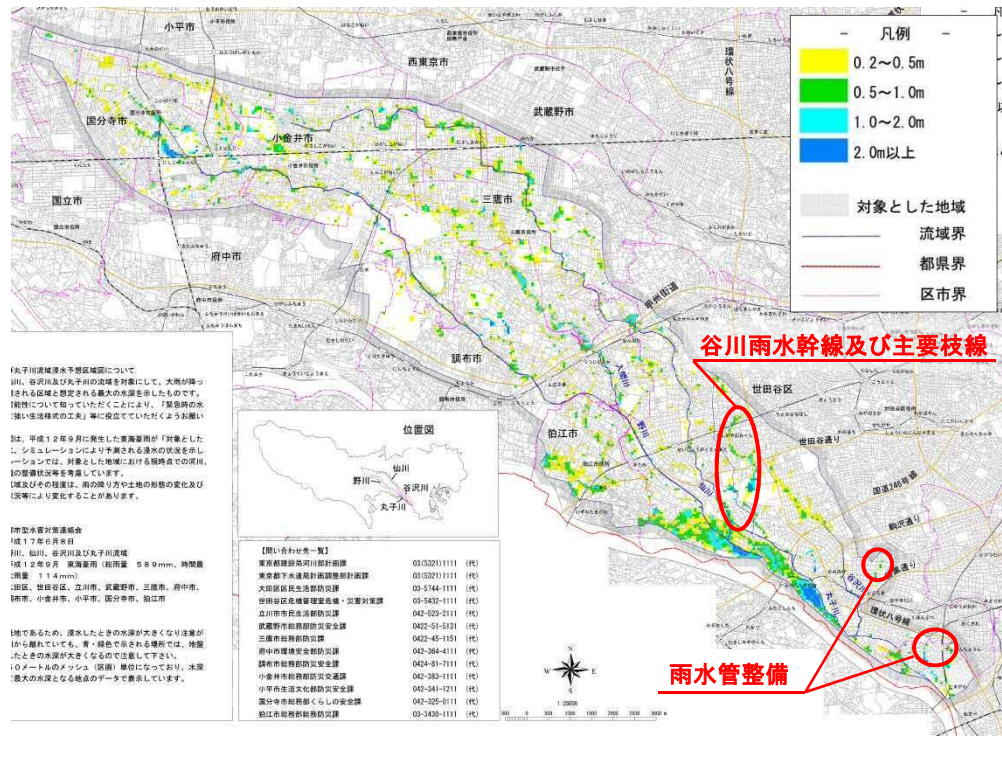


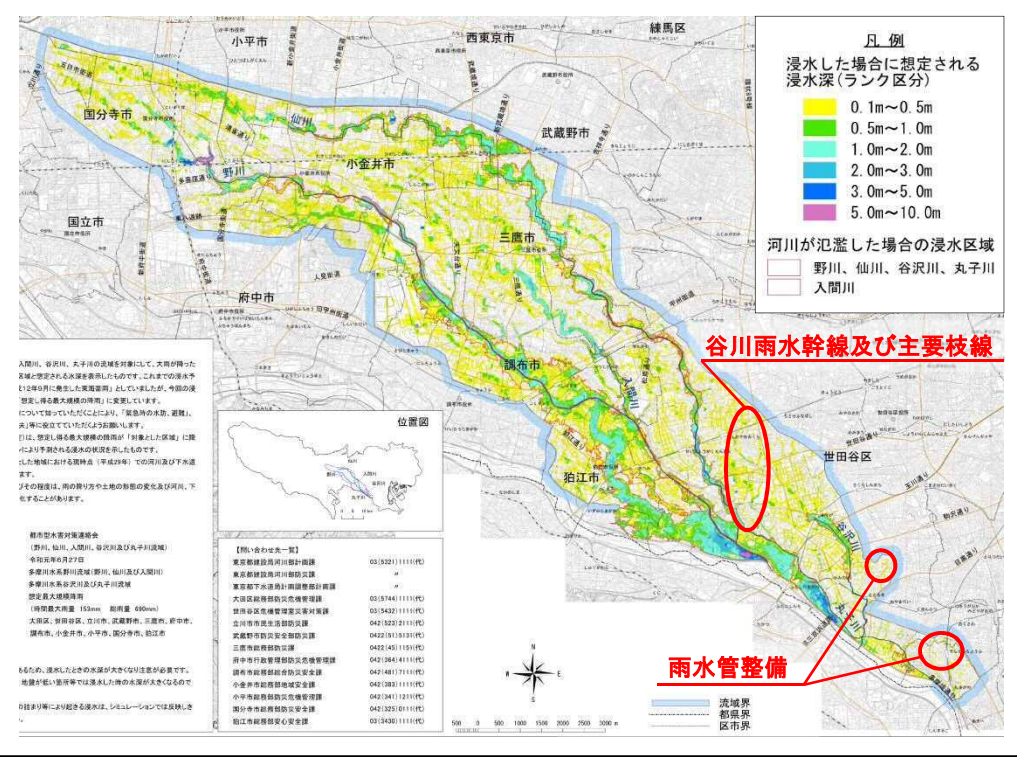
野川・仙川・入間川・谷沢川及び丸子川域浸水予想区域図

赤字：整備が進んだ施設の内容
赤丸：浸水面積が減少している代表的な地域

【改定前】 平成 17 年 6 月公表
対象降雨：東海豪雨(1 時間 114 ㎜)



【改定後】 令和元年 6 月公表
対象降雨：想定最大規模降雨(1 時間 153 ㎜)



改定前の浸水予想区域図は、平成 14 年度の施設状況を反映して作成し、改定図は平成 29 年度の施設状況を反映して作成しています。この間、下水道では、合計延長約 5 km の下水道管（内径 0.6~4.4m）や約 200ha の雨水管面整備など多くの施設を整備しています。赤丸で示す地域では、赤字の下水道施設を整備しており、浸水面積や浸水深が減少しています。

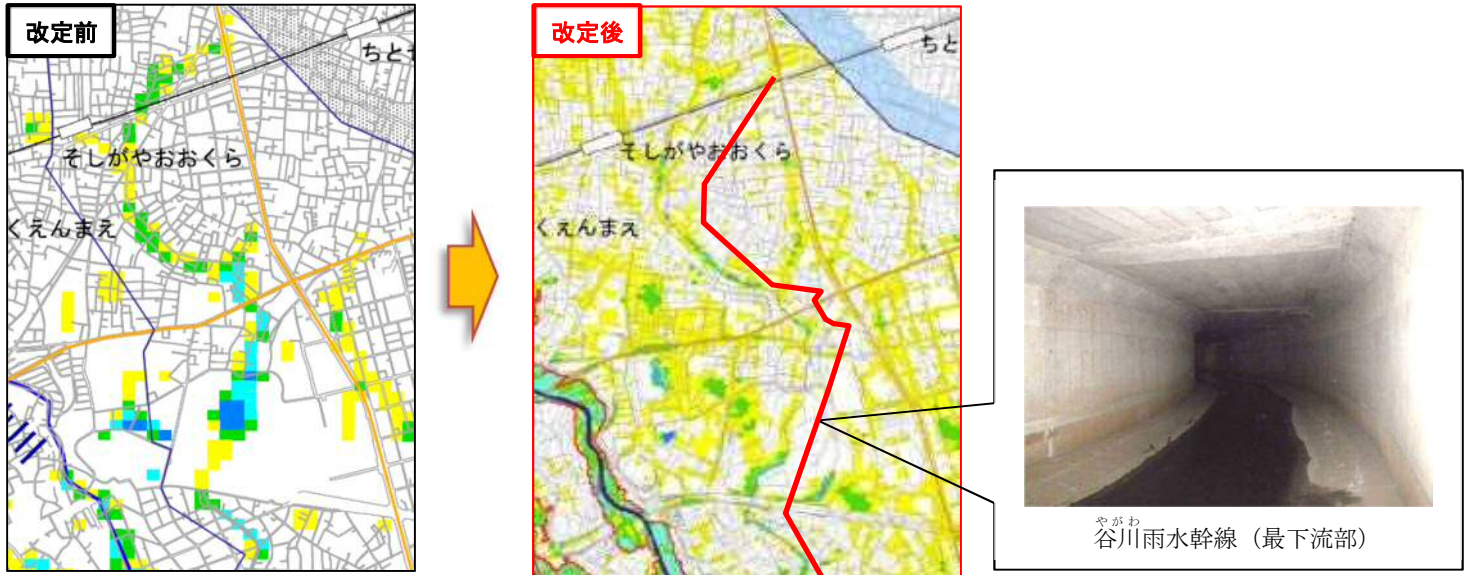
次ページに特に浸水面積や浸水深が減少している地域の拡大図を掲載しています。

野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川流域浸水予想区域図(拡大図)

この拡大図は、野川、仙川、入間川、谷沢川及び丸子川流域の中で特に浸水深が減少している地域です。
左図が改定前(対象降雨: 1時間114ミリ)、右図が改定後(対象降雨: 1時間153ミリ)のシミュレーション結果です。

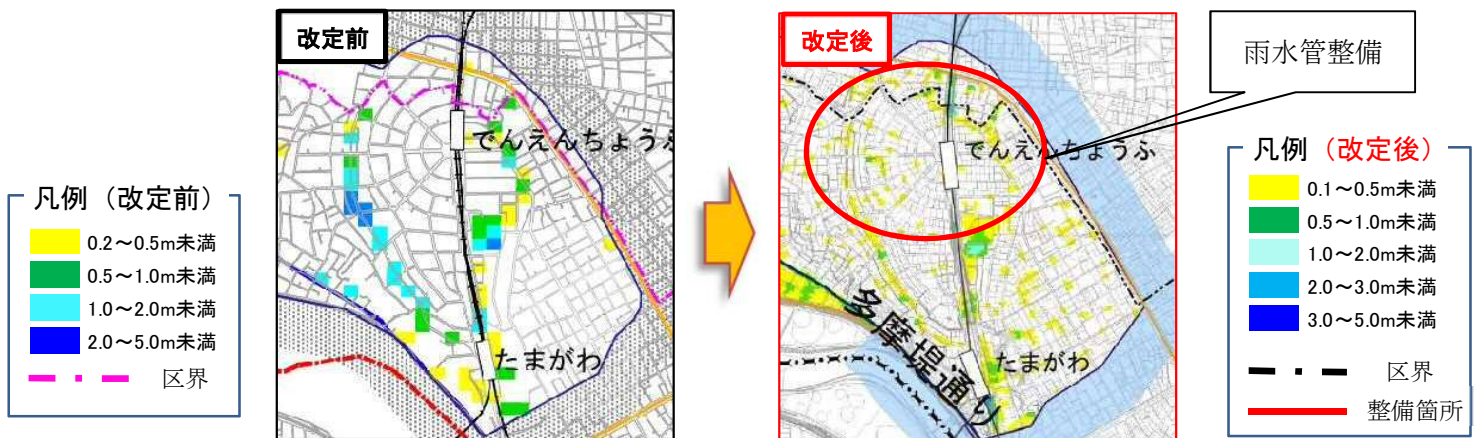
【世田谷区砧・大蔵周辺】

世田谷区砧・大蔵周辺では、^{やがわ}谷川雨水幹線(直径2.8~4.0m:延長約3.9km)が平成17年に完成しました。



【大田区田園調布周辺】

大田区田園調布周辺は、雨水管の整備が進みました。



【世田谷区等々力周辺】

世田谷区等々力周辺は、雨水管の整備が進みました。

